

京都市生物多様性プラン(2021-2030)と昆明・モンリオール生物多様性枠組との対応表

昆明・モントリオール 生物多様性枠組 京都市生物多様性プラン(2021-2030)			生物多様性への脅威を減らす								持続可能な利用及び利益配分による人々のニーズを満たす					実施と主流化のためのツールと解決策									
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
			生物多様性に配慮した計画・管理	生態系の回復	30by30	絶滅危惧種の回復・保全	野生種の乱獲防止	侵略的外来種への対策	汚染の削減（農薬・プラ）	気候変動対策	野生種の持続可能な利用	農林水産業の持続可能な利用	自然の恵みの回復	緑地や水辺の強化	遺伝資源の公正な利益配分	生物多様性の政策への組み込み	事業者によるモニタリング・開示	持続可能な消費・廃棄物の削減	バイオテクノロジーの利益配分	有益なインセンティブの拡大	資金の確保・途上国支援	国際協力	情報・アクセシビリティの強化	多様な主体の参画	ジェンダー平等
利用	（持続可能な目標1）	達成項目	京都の文化を支える生物資源を継続的に利用する		○	○	○	○					○	○									○		
		達成項目	自然が持つ多様な機能を活用して、都市のレジリエンスの向上を図る		○	○	○	○		○	○	○	○										○		
		達成項目	生物多様性を活用した持続可能な観光を促進する								○												○		
を保全・生育地と種の多様性	（生態系・生育地の回復する目標2）	達成項目	多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の環境を改善する		○	○	○	○					○		○	○							○		
		達成項目	里地里山の生物多様性の劣化を食い止め、回復を図る		○	○	○	○		○	○	○	○						○				○		
		達成項目	種の絶滅を食い止める		○	○	○	○															○		
		達成項目	生態系や人の健康、農林業に被害を及ぼす外来生物の拡大を防止するとともに、新たな定着を阻止する				○		○			○											○		
		達成項目	海洋汚染につながる河川のプラスチックごみを削減する							○							○								
		達成項目	地球温暖化を緩和する		○						○														
の転換	（ライフスタイル目標3）	達成項目	生物多様性に配慮した消費行動が広がっている														○						○		
		達成項目	一人ひとりが自然を身近に感じ、暮らしている								○			○											
		達成項目	一人ひとりが生物多様性とのつながりを認識している								○	○	○										○		
		達成項目	一人ひとりが生物多様性のために行動している																			○	○		
た仕組み	（社会変革に向けた目標4）	達成項目	生物多様性に配慮した経済活動を促進する			○	○	○		○		○	○			○	○						○		
		達成項目	生物多様性保全のための活動を支援する																			○	○		
		達成項目	生物多様性に関する情報の集約・発信力を強化する																			○	○		
		達成項目	生物多様性の現状を把握するための知見を集積する																			○	○		
全体			○											○											

京都市生物多様性プラン(2021-2030)と生物多様性国家戦略(2023-2030)との対応表

生物多様性国家戦略(2023-2030) 京都市生物多様性プラン(2021-2030)			基本戦略1 (生態系の健全性)								基本戦略2 (自然を活用した解決策)								基本戦略3 (ネイチャーポジティブ経済)								基本戦略4 (行動変容)					基本戦略5 (基盤・連携)											
			状態目標			行動目標					状態目標			行動目標					状態目標			行動目標		状態目標			行動目標																
			1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	生態系サー	2	3	4	5	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4	5						
			生態系の規模・質	絶滅リスク	遺伝的多様性	30by30	生態系ネットワーク	汚染・外来種	気候変動影響	希少種・普通種	遺伝的多様性	生態系サービス活用	気候変動対策との関係	鳥獣被害	生態系サービス活用の推進	地域づくり	シナジー	トレードオフ	軋轢緩和	ESG投資	技術・サービスの普及	農林水産業の拡大	開示	技術・サービスへの支援	ABS	農林水産業への普及支援	価値観	消費活動	国民参加	学校教育等	ふれあい	行動変容の促進	消費行動の啓発等	地域活動	データ利活用・空間計画	国内資金ギャップ	途上国支援	調査・モニタリング	人材育成・ツールの提供	地域計画支援	有害なインセンティブ	国際協力	
（持続可能な利用）目標1	達成項目	京都の文化を支える生物資源を継続的に利用する	○	○	○	○				○	○	○		○	○				○			○				○	○		○		○						○	○					
	達成項目	自然が持つ多様な機能を活用して、都市のレジリエンスの向上を図る	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○				○				○	○		○														
	達成項目	生物多様性を活用した持続可能な観光を促進する										○			○						○						○		○														
（生態系・生育地の保全・回復と種の多様性）目標2	達成項目	多様な動植物が見られる重要な生息・生育地の環境を改善する	○	○	○	○	○				○	○		○																				○				○					
	達成項目	里地里山の生物多様性の劣化を食い止め、回復を図る	○	○	○	○	○				○	○		○	○							○				○			○								○						
	達成項目	種の絶滅を食い止める	○	○	○	○					○																		○														
	達成項目	生態系や人の健康、農林業に被害を及ぼす外来生物の拡大を防止するとともに、新たな定着を阻止する	○	○				○														○							○														
	達成項目	海洋汚染につながる河川のプラスチックごみを削減する							○																			○					○	○									
	達成項目	地球温暖化を緩和する	○									○	○				○	○	○																								
（ライフスタイルの転換）目標3	達成項目	生物多様性に配慮した消費行動が広がっている																			○			○				○	○	○	○		○	○									
	達成項目	一人ひとりが自然を身近に感じ、暮らしている										○			○												○				○	○											
	達成項目	一人ひとりが生物多様性とのつながりを認識している										○			○							○					○		○	○	○												
	達成項目	一人ひとりが生物多様性のために行動している																									○	○	○	○		○											
（社会変革に向けた取り組み）目標4	達成項目	生物多様性に配慮した経済活動を促進する	○	○	○	○	○		○	○		○		○		○					○	○		○	○		○	○	○			○	○	○				○	○				
	達成項目	生物多様性保全のための活動を支援する																									○		○	○		○							○				
	達成項目	生物多様性に関する情報の集約・発信力を強化する																									○		○			○							○				
	達成項目	生物多様性の現状を把握するための知見を集積する																									○		○			○			○			○	○				